

【正誤表】

P.33左上03行目 総合諷刺雑誌が → 総合諷刺雑誌が
P.33右下08行目 一部書影掲載 → 一部書影を掲載
P.33右下14行目 古川タクの『ぼらぼら』 → 古川タク『ぼらぼら』
P.33右下15行目 単色カラーで折り込まれたユニークな形式で掲載されている。
→ 単色カラーで折り込まれ掲載されている（掲載順、名前の表記はママ）。
P.35左上07行目 大人漫画といわれている → 「大人漫画」といわれている
P.35右下03行目 『前衛漫画会』を → 「前衛漫画会」を
P.35右下04行目 『東京漫画人集団』を → 「東京漫画人集団」を
P.35右下13行目 マンガにかんする評論、対談などを → マンガ以外に評論や対談なども
P.37左上14行目 1958年に久里実験漫画工房を → 1958年に久里洋二実験漫画工房を
※1964年ごろ「久里実験漫画工房」に変更
P.37左上15行目 1972年まで19作 → 1972年までに19作
P.38左上03行目 「デザイン」 → 「グラフィックデザイン」
P.38右下20行目 新人賞には → 新人賞は
P.39左上13行目 図版だけでなく → 図版だけではなく
P.39右上06行目 そばにコピーライターがいたこともあるのだろう。
→ コピーとイラストの合作は絵本メディアにあった。
P.39右上08行目 フリーになったとき仕事を → フリーになったときに仕事を
P.39右上13行目 その華麗な時代が訪れるまえに → その華麗な時代のはざままで
P.39左下19行目 序文の延長に → 上記の序文の延長に
P.39右下18行目 作品であるが → 作品がのっているが
P.41左上09行目 「笑い」がないナンセンス・マンガは → 「笑い」がないマンガは
P.42左上05行目 情報などがのっている → 情報がのっている
P.42右上18行目 立場ありたい → 立場でありたい
P.42右下13行目 発表した論考も → 発表した論考が
P.43左下04行目 B5判のサイズ → B5判サイズの
P.43左下07行目 かかっている → かかっている
P.43左下20行目 終行となった → 終行となった
P.43右下09行目 2年生の → 2年制の
P.44左上11行目 特集されてる → 特集されている

P.44右上04行目 サム・ゴービン → サム・コービン
P.44右上18行目 頁 → ページ
P.44左下06行目 資料として → 資料として
P.44左下07行目 イラストレーターも → イラストレーターが
P.44右下16行目 アンダーグラウンド・コミックス → アンダーグラウンド・コミックス
P.45右下07行目 『週末から』 → 『終末から』
P.45右下20行目 ※字数の都合で「（掲載順、名前の表記はママ）」を省略
P.46左上04行目 63人へのアンケートとってて → 63人へアンケートをとってて
P.46右上05行目 大御所や人気があるひとは → 大御所や人気があれば
P.46右上09行目 イラストレーションの仕事と相性がいい
→ イラストレーターにシフトしていくひとも多かった
P.46左下13行目 井上以外はデザイナーとして活躍していたイラストレーターである
→ 井上以外はグラフィックデザイナーとしても活躍していた
P.46右下04行目 乱立する → 乱立することになる
P.46右下20行目 古川タクを紹介 → 古川タクが紹介されている
P.47左上15行目 デザイナーのポスターに → デザイナーのポスターから、
P.47左上18行目 隣りあわせといえるだろう → 隣りあわせであるといえるだろう
P.47左下07行目 その意図を編集者はくみとっている
→ 編集者はその意図をくみとり判型が大きい
P.49左上02行目 『COO』 → 『COO1』
P.49左上03行目 1968年 → 1968年ごろの
P.49右上06行目 マンガに應用して考えたい → 本稿に應用して考えたい
P.49右上07行目 マンガ界は約10年でこのサイクルが起きていた
→ 日本マンガ史は約10年でこのサイクルが起きている
P.49右上08行目 〈ナンセンス・マンガ〉 → 「笑い」のない〈ナンセンス・マンガ〉
P.49右上14行目 1968年 → 1968年ごろの
P.49右上14行目 1970年中ごろ〈イメージ・マンガ〉で劇画調のつげ義春や石森章太郎
→ 1970年前半の〈イメージ・マンガ〉から劇画調の石森章太郎
P.49 下08行目 『アックス』で → 『アフタヌーン』で
P.49 下09行目 あげていた → 自身のサイトにあげていた

『マンガとイラストレーションのあいだ』増補改訂版、アニメーション総合文化研究所より今冬刊行予定